

UMC-Japanese Ministry
11 Highgate Terrace
Bergenfield, NJ 07621 [USA](#)

新サーキットライダー 2010年 2月号



U nited M ethodist C hurch - J apanese A merican M inistry

合同メソジスト教会日本語ミニストリー

c/o The Church of The Good Shepherd, 326 New Bridge Road, Bergenfield, NJ 07656

Pastor Jun Yoshimatsu 牧師：吉松 純

Church: (201) 385-4100 Homepage: www.umc-japan.org

レント：受難節に寄せて

あなたがたを襲った試練で、人間として耐えられないようなものはなかったはずで、神は真実な方です。あなたがたを耐えられないような試練に遭わせることはなさらず、試練と共に、それに耐えられるよう、逃れる道をも備えていてくださいます。

コリントの信徒への手紙二 10 : 13.

最近、かつての日本語学校補習校とサマーキャンプの教え子（20代女性、現在日本で英語教育に関わっている）より「生きテク」<http://ikiteku.net/>なるサイトを教えてもらいました。そのサイトは自殺願望がある人たちや、人生に疲れ或いは追い詰められて自殺強迫観念を持っている方達に「自殺せず留まって欲しい」という思いから作られたホームページです。サイトには辛い思い経験をし自殺を考えたけど押し留まった人達の体験談が掲載されています。「それを見て勇気づけられた。」「死ぬのが馬鹿らしくなった。」など実際に自殺を思い留まった方達のコメントも掲載されています。昨年まで12年連続で年間3万人以上の方が自殺し自殺大国と呼ばれる日本の現状を思うと残念でなりません。このサイトがより多くの方の自殺を思い留まらせてくれれば良いなあと心から願います。

聖書には自殺に対する直接的な戒めはありませんが、モーセの十戒の第六戒に「殺してはならない」があります。この戒めの根拠は「人は神にかたどって創造され」（創世記1：27）「神によって命の息を吹き込まれた存在」（創世記2：7）であるということにあります。神から与えられた尊い命だからそれを奪ってはならないのです。更にユダヤ教もキリスト教も自殺を殺人の中でも最も思い罪としています。神から賜った命を自ら絶つことによって現世での罪の悔い改め、赦しを与えられる機会が無くなってしまうと考えられているからです。

しかしながら私達は単に「罪、罪」と言って自殺衝動に駆られる人を裁くのではなく、中には鬱病や精神分裂、ノイローゼなど自殺衝動が症状の特徴の一つである病気があることも理解し、病気として診断されるべき自殺願望者達も多々おり、その人達は薬やカウンセリング、セラピーによって治療可能であるということも知らなければなりません。

また病気ではないが人に分かってもらえないほどの辛く悲しい経験をしたり、苦しい思いをして死の瀬戸際までいっている人達も沢山います。鬱やノイローゼなど病気の場合、下手な励ましや訓戒よりも医者や臨床心理士と連携し投薬治療が必要です。科学、医学は信仰の敵ではありません。お互いに良く知り合い助け合う事が肝要。

一方、病気ではないが苦しんでいる後者の人達、余りにも辛く悲しい経験をし生きる希望を失った人達、或いは深く考えず自殺サイトなどを見てその時の感情に流され安易に死を選ぶ人達には私たちクリスチャンができることがもつとあるのではないかと思います。

それは「あなたは愛されているんですよ。」ということを伝えること。聖書では「わたしの目にはあなたは値高く、貴く私はあなたを愛し・・・」（イザヤ書43：4）のように神が私達一人一人を見つめ愛していると何箇所にも書かれています。また、冒頭の引用、使徒パウロの言葉にあるように今どれほど辛くても必ず死ではない「逃れる道が備えられている」というメッセージも伝えなければなりません。

たとえどれほど辛くても必ず抜け道（安易な逃げ道ではない）があります。一度でも辛く苦しい経験をされた方はきっとお分かりでしょう。その時は必死だったけど周りの人々の差し伸べてくれた救いの手、優しさに励まされ何とか苦難を切り抜ける事ができた、というような経験が皆さんにもあるのではないのでしょうか。信仰者はこのような苦境を凌ぎ、後から振り返った時、神の不思議な導きを実感することが多々あります。しかしこれは「生きていてこそ」です。

キリスト・イエスは神から託された「人類救済」という使命に殉じました。それは時の為政者や権力に群がる人々からの弾圧、拷問、十字架による死罪と過酷な道、正に受難の道でした。イエスは逃げようと思えば逃げることも出来ました。しかし彼は苦しみを真っ向から受け止め十字架の道を突き進みました。私達の罪の身代わり、神に供える捧げ物、犠牲の子羊として。今日風に譬えるなら病気で余命幾ばくもない人が誰かの臓器献体によって命が救われたようなものです。イエスは臓器の代わりに、命全てを献げて下さった。その献命（献魂）によってそれを受け入れる者は魂が救われ、永遠の命を得られた。

そのお陰で私達は今日神の国という約束を信じて生きる事ができるのです。イエスの苦しみを思う時、私はただただ感謝と深い悔い改めの念に頭が垂れます。

この受難節、どうぞイエスの深い愛に触れ、感謝を持って命を見つめてお過ごし下さい。

吉松 純

礼拝予定：

2月

- 7日 礼拝、聖餐式、Jr.教会、キリスト教と節分
- 14日 礼拝、Jr.教会、ヴァレンタイン・デーの本当の意味、お団子作り
- 21日 礼拝、Jr.教会、レントの意味を学ぶ
- 28日 礼拝、Jr.教会、JOCSの為切手整理

3月

- 7日 礼拝、聖餐式、Jr.教会日本の春の行事を学ぶ
- 14日 礼拝、Jr.教会、未定

行事、プログラム案内：

- * 17日 (水) Ash Wednesday：灰の水曜日礼拝(英語)、午後7時30分
- * 25日 (木) 午後7時より、パンとスープの夕食、聖書の学び。英語のプログラムですがどなたも歓迎いたします。
- * 28日 (日) 礼拝後、SMJに協力し、高校生、ユースの聖書の学びをします。ルカによる福音書を学びます。お友達をお誘いください。(通常、第四日曜日)

お祈りと献金の御協力をお願いします。
チェックのあて先は UMC-JA とし、どのプログラムに献金したいか明記してお送り下さい。

- * 自然災害被害者の為、特にハイチの地震被災者の為。別紙に合同メソジスト教団ビショップからの訴えを載せませした。英語ですが是非お読み下さい。
- * サマーキャンプの為
- * 2010年東部日本語教会、伝道所合同ファミリーキャンプの為
- * ハーベスト・タイム放送が3月一杯で終了となります。ハーベスト・タイム・ミニストリーの今後為、中川健一先生のこれからのミッション為お祈り下さい。
- * 消印のついた切手の周り1センチの余白を残して切り取って下さい。切手は日本キリスト教海外医療協力会(JOCS)に送ります。JOCS海外に医療関係者を送ると共に医

療関係者の育成をしています。

- * ケニヤの恵まれない子供達やエイズの患者さんの為に特別献金をしています。
- * パターソンの St. Philip 伝道と社会福祉団体 CUMAC/ECHO の為に。どちらもメソジスト教団に属し、貧しい人達のための炊き出しと路傍伝道をしています。

報告：

- * 子供のサマーキャンプは7月25日(日)から8月6日(金)の2週間です。費用は全て込みで1300ドルで対象は小学三学生から中三まで。2週間フル参加が原則です。近日中にパンフレットを配布します。どうぞ御近所にお子さんがいる家族がいましたら、差し上げてください。
- * 今年の東海外国語教会合同ファミリー・キャンプは9月4、5、6日のレイバー・デーの週末です。皆様、今からどうぞ予定に組んで下さい。

教会の住所：

UMC-Japanese Ministry

The Church of the Good Shepherd, UMC.

326 New Bridge Rd. Bergenfield, NJ 07621

英語オフィス(201) 385-4100

ホームページ：<http://umc-japan.org>

牧師館：(201) 338-2744

吉松牧師 junyoshim@optonline.net

教会学校担当：吉松 泉姉

izumi.yoshimatsu@gmail.com